

笹井参院選挙は撤退

第40回

連盟(臨時)評議員会開催

平成十六年六月十五日(火)午後六時三十分より県歯会館六階「ハーモニーホール」に於て、第四十回臨時評議員会が開催され、日歯連盟第九十三回臨時評議員会で決定した笹井選挙撤退について経緯の説明があった。また、次期参議院議員選挙についての協議等がなされた。

氏名点呼の後、高橋副会長の開会の辞で始まり、森本克廣議長と高橋康友副議長長の進行のもと、議事録署名者に辰川恵忠、秋山敬三(神石)の両評議員が指名された。

本山会長より「本日は、平日でもこのような開催時間設定になりましたことを申し訳なく思っており、急展開をみた中央情勢について、取り急ぎ先生方にご報告、ご協力いただきたく、このような会議設置になったことにご理解、ご寛容いただきますようお願いいたします。」

まず、日歯連盟臨時評議員会報告として、今回



挨拶する本山会長

の笹井選挙について、すでに案内のとおり撤退することに決定いたしました。いろいろ御尽力をいただきました先生方には厚くお礼申し上げます。日歯連盟に、政治活動や会計の透明化、規約改正等についての特別委員会を設置することになっております。本連盟においても、常任理事会や特別委員会を立ち上げるなどして、本会と連盟の峻別の問題も含め協議する場を設けたいと考えております。

次に、公益法人と政治団体の活動の峻別についてですが、平成十三年八月に、当時各都道府県で起こった連盟訴訟問題を受けて、厚

い、本連盟におきまして、先日行いましたアンケートの結果ですが、十四名の回答者のほとんどが、次期参議院選挙に与える影響の大きさを危惧する声がありました。比例代表候補者への笹井氏擁立には賛否両論があり、その他の評議員は執行部に一任を戴いたと思

います。

弁護士費用については、報道では、支出とありますが、実際は仮払いということ、今後、内訳をはっきりしていき、連盟が負担すべきもの、個人が負担すべきものに分けていき、連盟の理解と納得が得られるようにしていく必要があると考えております。

また、連盟は評議員制、本会は代議員制となっておりますが、地域性等その組織を代表して必要な事項を協議するものであります。特に緊

急性を要する事柄については、全連盟員に意見を拝聴する時間的余裕がないので、評議員にその意見を求めるのであり、評議員におかれましては、各地区連盟員の代表として自覚と責任を持って対応していただきたい。

日歯連盟の会費についても、新執行部は当然引き下げをされるであろうし、我々も要望していく考えで、会費の使途、会計の明朗化については全連盟員の望むところであり、実現していきたい。最後に、先程の理事会でご指摘を受けました今回の後援会員に対しては、一両日中に葉書をもっておわびのご挨拶を申し上げたいと思っております。

また、先日行いましたアンケートの結果ですが、十四名の回答者のほとんどが、次期参議院選挙に与える影響の大きさを危惧する声がありました。比例代表候補者への笹井氏擁立には賛否両論があり、その他の評議員は執行部に一任を戴いたと思

います。

自分の非力を顧みない時、この極めて厳しい事態を乗り切ることが果たして可能なのか、正直、胸の内は乱れておりますが、しかし一旦お引き受けした以上は迷うことなく、執行部が一丸となって、連盟の再生に邁進いたします。

ここに、そこで述べた連盟への思いを中心に書き添えていただき、私の会長就任の挨拶といたします。

一、今回の事件に対する反省と謝罪について

連盟はもとより、歯科界の信頼を失墜させた今回の事件を検証し、反省し、その謝罪を行うことは、最も大切なことではあります。しかし反省や謝罪は単なる言葉や態度だけで済まされるものではないと考えます。真の反省・謝罪とは、二度とこのような不祥事を起こさないという決意のもとに、なされる連盟改革の考えとその実行ではないでしょうか。

我々新執行部は、このことを全員が自覚し、常に危機意識をもって会務を執行したいと考えています。

二、今回の事件の調査・究明について

今回の事件の真相の究明は、連盟の再生のためにも必要かつ不可欠なことであり、現行の規約は、峻別に反するのではないかと、厳しい意見が出されました。しかし、連盟新執行部の決定期限が迫っており、新たに規約の改正を行う時間がないことから、私の連盟改革の考えを述べた後に承認することとなり、私に承認することとなりました。何か査問審査会にでもかけられるような思いではありませんが、しかし評議員の先生方のお考えは全く正当なものであり、私としては何の異存もなく、私の所信を述べ、さらにはくつかの質問にお答えした後に、ご承認をいただきました。

自分の非力を顧みない時、この極めて厳しい事態を乗り切ることが果たして可能なのか、正直、胸の内は乱れておりますが、しかし一旦お引き受けした以上は迷うことなく、執行部が一丸となって、連盟の再生に邁進いたします。

ここに、そこで述べた連盟への思いを中心に書き添えていただき、私の会長就任の挨拶といたします。

三、連盟と日歯の峻別について

峻別とは、役員を別にすることだけで終わるとは考えておりません。先に述べた日歯会長の推薦という規約をはじめとし、連盟の規約には日歯に準ずるといふ項目が多く、連盟独自の考え方に基づく規約の改正が必要で、しかし同時に大切なことは、峻別された二つの組織の関係をどのように強化するか、それをしっかりと見据えておくことだと思っております。日歯と連盟が全く別々の方向を向いて歩くならば、そこには不毛の結果しか生じません。峻別しつつ、その連携を強化する手段を真剣に考えていきたいと思

四、連盟の存在意義の再確認

規約には連盟組織の目的は明記されておりますが、しかし政治団体としての連盟の真の理念が明確になっていないと言いがた

五、連盟の透明性の確保と会費の引き下げについて

連盟には不透明な部分が多い、これが連盟に対する暗いイメージとして定着し、さらに今回の事件によって、それが決定的なダメージとなりました。政治活動には確かに、その交渉過程など、公開できないこともあるのは事実だと思っております。しかし、それを理由に、不透明な部分が増加していくとしたら、それはまさに組織の自殺行為に他ならないと思

六、役員と会員の関係の新たな構築について

執行部と評議員の先生方、評議員の先生方との議論こそが、連盟再生にとって欠かすことのできない極めて大切な要素であり、そして、そこでの決定の成否は、会長としての私の責任であるという、私の心の構えをここに明確にしておきます。

今後とも会員諸先生方の厳しく、また時に温かなご意見とご協力を賜りたく、心よりお願いを申し上げます。

山科理事長から

(1) 一般会務報告

(2) 日歯連盟関係報告

次に協議事項の審議に入り、

次期参議院議員選挙について

第二十回参議院議員選挙において本連盟としては選挙区候補者として亀井郁夫氏を推薦候補者とする事が可決承認された。

(2) 本会と連盟の峻別について

広島県としても本会と連盟の峻別については、多くの問題をかかえており、それを指摘されているので特別委員会等を立ち上げて精力的に取り組んでいかなければならない。

最後に、谷本健二副会長の閉会の辞で終了した。

この度私は、去る五月二十二日に開催されました連盟評議員会において、井堂日歯会長の推薦を受け、さらに連盟評議員の諸先生方のご承認により、連盟会長に就任いたしました。井堂日歯会長は、日歯と連盟の峻別を掲げ、現行の規約に従って私を推薦されましたが、しかし評議員より、連盟の会長が推薦する」という現行の規約は、峻別に反するのではないかと、厳しい意見が出されました。しかし、連盟新執行部の決定期限が迫っており、新たに規約の改正を行う時間がないことから、私の連盟改革の考えを述べた後に承認することとなり、私に承認することとなりました。何か査問審査会にでもかけられるような思いではありませんが、しかし評議員の先生方のお考えは全く正当なものであり、私としては何の異存もなく、私の所信を述べ、さらにはくつかの質問にお答えした後に、ご承認をいただきました。

峻別とは、役員を別にすることだけで終わるとは考えておりません。先に述べた日歯会長の推薦という規約をはじめとし、連盟の規約には日歯に準ずるといふ項目が多く、連盟独自の考え方に基づく規約の改正が必要で、しかし同時に大切なことは、峻別された二つの組織の関係をどのように強化するか、それをしっかりと見据えておくことだと思っております。日歯と連盟が全く別々の方向を向いて歩くならば、そこには不毛の結果しか生じません。峻別しつつ、その連携を強化する手段を真剣に考えていきたいと思

連盟には不透明な部分が多い、これが連盟に対する暗いイメージとして定着し、さらに今回の事件によって、それが決定的なダメージとなりました。政治活動には確かに、その交渉過程など、公開できないこともあるのは事実だと思っております。しかし、それを理由に、不透明な部分が増加していくとしたら、それはまさに組織の自殺行為に他ならないと思

執行部と評議員の先生方、評議員の先生方との議論こそが、連盟再生にとって欠かすことのできない極めて大切な要素であり、そして、そこでの決定の成否は、会長としての私の責任であるという、私の心の構えをここに明確にしておきます。

今後とも会員諸先生方の厳しく、また時に温かなご意見とご協力を賜りたく、心よりお願いを申し上げます。

思いを、どのように執行部が知り、またそれを会務の執行に生かしていくか、これは大きな組織の永遠の課題であり、また困難な課題ですが、様々な可能性を探り、会員のための連盟であるという当たり前の認識を大切にしたいと考えております。

七、連盟改革について

以上に述べたことを基本的な理念とし、連盟の改革を実行してまいります。

基本的な骨組みとして、会長のもとに改革本部をつくり、その下に、いくつかの課題毎に外部の有識者を含めた委員会を設置したいと考えております。

そして、その委員会での決定を本部会議で議論し、全体の構想と実行スケジュールを決定し、できればその途中経過を公表しながら、評議員や会員の意見を汲み上げていきたいと思

思いを、どのように執行部が知り、またそれを会務の執行に生かしていくか、これは大きな組織の永遠の課題であり、また困難な課題ですが、様々な可能性を探り、会員のための連盟であるという当たり前の認識を大切にしたいと考えております。

七、連盟改革について

以上に述べたことを基本的な理念とし、連盟の改革を実行してまいります。

基本的な骨組みとして、会長のもとに改革本部をつくり、その下に、いくつかの課題毎に外部の有識者を含めた委員会を設置したいと考えております。

そして、その委員会での決定を本部会議で議論し、全体の構想と実行スケジュールを決定し、できればその途中経過を公表しながら、評議員や会員の意見を汲み上げていきたいと思

思いを、どのように執行部が知り、またそれを会務の執行に生かしていくか、これは大きな組織の永遠の課題であり、また困難な課題ですが、様々な可能性を探り、会員のための連盟であるという当たり前の認識を大切にしたいと考えております。

七、連盟改革について

以上に述べたことを基本的な理念とし、連盟の改革を実行してまいります。

基本的な骨組みとして、会長のもとに改革本部をつくり、その下に、いくつかの課題毎に外部の有識者を含めた委員会を設置したいと考えております。

そして、その委員会での決定を本部会議で議論し、全体の構想と実行スケジュールを決定し、できればその途中経過を公表しながら、評議員や会員の意見を汲み上げていきたいと思

思いを、どのように執行部が知り、またそれを会務の執行に生かしていくか、これは大きな組織の永遠の課題であり、また困難な課題ですが、様々な可能性を探り、会員のための連盟であるという当たり前の認識を大切にしたいと考えております。

七、連盟改革について

以上に述べたことを基本的な理念とし、連盟の改革を実行してまいります。

基本的な骨組みとして、会長のもとに改革本部をつくり、その下に、いくつかの課題毎に外部の有識者を含めた委員会を設置したいと考えております。

そして、その委員会での決定を本部会議で議論し、全体の構想と実行スケジュールを決定し、できればその途中経過を公表しながら、評議員や会員の意見を汲み上げていきたいと思

思いを、どのように執行部が知り、またそれを会務の執行に生かしていくか、これは大きな組織の永遠の課題であり、また困難な課題ですが、様々な可能性を探り、会員のための連盟であるという当たり前の認識を大切にしたいと考えております。

七、連盟改革について

以上に述べたことを基本的な理念とし、連盟の改革を実行してまいります。

基本的な骨組みとして、会長のもとに改革本部をつくり、その下に、いくつかの課題毎に外部の有識者を含めた委員会を設置したいと考えております。

そして、その委員会での決定を本部会議で議論し、全体の構想と実行スケジュールを決定し、できればその途中経過を公表しながら、評議員や会員の意見を汲み上げていきたいと思



平成16年
7月23日
第118号

発行所
広島県歯科医師会
連

広島市中区宝町5-30
TEL (082) 241-8020
編集兼発行人 柁田博昭



日本歯科医師連盟
会長 大久保 満 男

会長所信

平成十六年度 第一回(臨時)理事会開催!

平成十六年六月十五日(火)午後五時より、平成十六年度第一回理事会が会館四階「会議室」に於て開催され、小松副会長の開会の辞で始まった。

次に本山会長より「歯科医師会はいつもお詫びと反省で始まるのが今の状況であり、早く納得いく様な日がくればと思ふ。笹井選挙は理事会で選挙の方向で意見がまとまったが、その執行部案は、評議員会で反対が多く否決され、撤退することに決定した。この件については、大変ご迷惑をかけ、お許しいただきたい。また連盟と本会の峻別について厳しい通達があった。

- 一、一般会務報告
 - 二、中央情勢報告
 - 三、その他
- 続いて、協議事項に入り
- 一、第四十四(臨時)評議員会の取り運びにつ



第1回理事会

いいて、二、次期参議院議員選挙について、理事より、笹井選挙の一般署名者への対応や、連盟脱退者増加への不安などの意見が出たが、執行部が責任をもって慎重に対応すると回答した。最後に高橋副会長の閉会の辞にて終了した。

連盟支部だより

安佐支部

平成十六年度

広島地域政策研究会総会



挨拶する石橋県議

六月十六日(水)午後六時三十分より広島全日空ホテル「万葉の間」に於て、約千三百人の参加を得て石橋良三県議会議員後援会主催の標記総会が開催された。定刻、国歌斉唱により始まり中尾健三会長の開会の辞に続き、来賓として亀井静香衆議院議員が登場し、年金問題やイラク問題を絡め議員のあり方など、いつもの亀井節での挨拶があった。続いて榎山俊宏自民党広島支部連合会会長代行の石橋県議の活

笹井ひろふみ氏を励ます会開催

平成十六年四月十三日(火)午後八時より「福山ニューキャッスルホテル」に於て「笹井ひろふみ氏を励ます会」が、四百名以上の参加を得て開催された。

谷本副会長の開会の辞により始まり、本山会長の挨拶の後、来賓の宮沢洋一衆議院議員(代議)と亀井郁夫参議院議員(夫人代読)の激励の挨拶があった。

次に笹井候補より「今回の選挙を勝ち抜き、歯科界の元を取り戻すよう先生方と共に頑張り、歯科界の発言力の向上を目指して頑張らせて頂きたい」と決意表明があった。最後に林副理事長の閉会の辞で終了した。

広島県歯科医師連盟東部地区決起大会



決意を述べる笹井候補

参議院選挙が終わった。民主党が躍進し、二大争点となった年金、イラク多国籍軍への自衛隊参加問題で自民党が選挙区、比例区とも民主党の攻勢を受け、苦戦した。笹井氏の立候補辞退決定は非常に残念だった。職域代表がいなくなると今後の歯科界はどうなるのだろうか。(S)

連盟会務報告

(平成十六年二月一日〜五月三十一日)

- 2・5 日歯連盟緊急常任理事・理事合同会議
- 2・10 連盟監査
- 2・12 亀井郁夫参議院議員来会
- 2・20 日歯連盟常任理事・理事合同会議
- 2・23 林正夫後援会総会
- 2・24 連盟評議員会事前打合せ
- 2・26 河村建夫文部科学大臣と面談
- 2・28 第四回連盟理事会
- 3・1 第三十九回連盟評議員会
- 3・17 林正夫広島県議来会
- 3・19 第二回日歯連盟監事会
- 3・19 衆議院広島第五区補欠選挙 寺田稔候補と面談
- 3・25 連盟ニュース一七号発行
- 3・26 日歯連盟常任理事・理事合同会議
- 3・26 第九十日歯連盟評議員会
- 4・3 日歯連盟第一回選挙対策推進本部会
- 4・6 県歯連盟支部連盟員個別訪問
- 4・10 自民党広島第一選挙区支部大会
- 4・12 衆議院広島第五選挙区補欠選挙告示
- 4・12 新設九大学笹井ひろふみ氏を囲む会
- 4・13 寺田稔出陣式
- 4・15 県歯連盟東部地区決起大会
- 4・15 日歯連盟常任理事・理事合同臨時会議
- 4・23 日歯連盟常任理事・理事合同会議
- 4・23 大島よしひさ参議院議員と面談
- 4・24 広島県歯科医師連盟支部長会議
- 4・25 衆議院広島第五区選出議員補欠選挙投票日(寺田氏当選)
- 4・28 都道府県歯科医師会長・同連盟会長合同会議
- 5・15 亀井郁夫後援会広島事務所開き
- 5・19 参議院比例代表広島県事務所連絡者打合せ
- 5・21 宮澤洋一君を励ます会
- 5・22 第九十二回日本歯科医師連盟臨時評議員会
- 5・23 亀井郁夫後援会福山事務所開き
- 5・23 河村健三先生を励ます広島会
- 5・24 溝手顕正君の在職十周年を祝う会
- 5・29 誇りある国、日本へ!中川秀直君の会
- 5・30 府中町長選挙投票日(上原氏落選)

参院選が終わった。自民党は苦戦し、民主党が躍進した。笹井選挙の撤退を決めた歯科界は職域代表を出せなかった。これについては賛否意見が分かれるが、歯科界の現状を打開するためには、政治力が必要である。次期選挙では歯科界の躍進に期待したい。(哲)

連盟の一番大きな使命は、我々の声を国政へ届ける職域代表を送り出すことである。笹井選挙は自粛撤退となったが、当落は別にして連盟が立候補者を立てなかったのは今回が初めてである。事件を究明し、三年後の選挙には一丸となって戦える連盟に改革していかなければならない。(N)

編集後記